

(款) 25労働費 (項) 5労働諸費 (目) 10会館管理費

◎勤労福祉会館の経費

勤労福祉会館管理運営事業	【	市民活動課	】
--------------	---	-------	---

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち

勤労者福祉: 市内の企業で、勤労者の働く環境が充実し、安定的な雇用が図られているまち

【事業の目的】

対象 勤労者等

意図 レイ・ウェル鎌倉の適切な維持管理をするため。

効果 適切な維持管理を行い勤労者福祉のための事業を実施する。

【事業の内容】

- (1) 勤労福祉会館運営事業
  - ・ 指定管理者との連絡調整を行った。
- (2) 勤労福祉会館管理事業
  - ・ レイ・ウェル鎌倉のホールアスベスト除去等修繕など、大規模な修繕及び工事を行った。
  - ・ 指定管理者との協定に基づき、指定管理料を執行した。

レイ・ウェル鎌倉利用状況

区 分	延件数	延人員
ホール・会議室等	4, 7 4 3 件	6 0, 9 8 7 人

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
70,408	88,431	88,264		167
主な支出内訳				
・ 勤労福祉会館運営事業				
複写機等賃借料				222
・ 勤労福祉会館管理事業				
レイ・ウェル鎌倉維持修繕料				2,308
ホールアスベスト除去等修繕料				19,110
レイ・ウェル鎌倉指定管理料				63,789
高压引込みケーブル更新工事費				2,835
主な特定財源				
・ 国県支出金				6,292

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	■サービス部門 市民-07 勤労福祉会館管理運営事業 □支援部門						
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	620 勤労福祉会館運営事業					
		621 勤労福祉会館管理事業					
主管課	市民活動課	関連課					
分野名	勤労者福祉						
目標 (目標値)	勤労者の福祉の増進と文化の向上に活用するための施設の管理運営を行う。						
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考		
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日		
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯			
	利用者数	76,371人	71,481人	67,775人			
運営資源 状 況	決算値	88,264千円	73,239千円	105,028千円			
	(国・県)	6,292千円		7,016千円			
	(負担金等)	835千円	835千円	816千円			
	(一般財源)	81,137千円	72,404千円	97,196千円			
	人員配置数	0.1人	0.1人	0.1人			
	人 件 費	893千円	905千円	912千円			
	協働の パートナー						
事務事業 運営経費	総事業費	89,157千円	74,144千円	105,940千円			
	市民1人当 りの経費	505円	422円	605円			
	対象者1人 当りの経費	1,167円	1,037円	1,563円			
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価							
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※		
勤労福祉会館管理事業	▲3,059	修繕費の減、工事請負費の増等			④	※妥当性の評価	
勤労福祉会館管理事業	19,110	ホールアスベスト除去等修繕			④	① 必要性なし	
						② 民間	
						③ 国・県	
						④ 現行どおり(鎌倉市)	
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(22年度)
施設利用率	◎	目標値	40%	42%	45%	50%	50%
		実績値	40.31%	42.18%			
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
事業配置職員数	◎	目標値	0.5人	0.5人	0.5人	0.5人	
		実績値	0.1人	0.1人			
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)							
団体名							

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	<p>(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>安全面では、耐震診断の実施が必要とされているが、実施計画においては趣旨採択に留まっている。</li> <li>設備面では、ホール用照明装置が老朽化しており修繕を要する。同装置が故障した場合ホールが使用不能となるが、実施計画では不採択となっている。</li> </ul> <p>国のアスベストに関する基準変更によりホール壁面等に使用されているアスベストについて、除去等の対応が必要になった。</p>
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	<p>(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中期実施計画策定に向けて事業計画を作成し、耐震化については、大船地域での公共施設再配置計画策定に位置づけられた。</li> <li>また、ホール用照明装置修繕については、同実施計画事業として計画的に改修していくこととなった。</li> <li>アスベスト問題については、利用者への影響を考慮し、補正予算により除去等修繕を実施した結果、将来にわたっての安全性を確保することができた。</li> </ul>
	未解決の課題・問題点	<p>(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>耐震化工事の代替手段であるレイ・ウェル鎌倉の再配置について、実施年度を含めて具体的な計画策定に至らなかった。</li> </ul>
	今後の方針 (対応・改善)	<p>(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>勤労者福祉施設として必要な施設規模を検討し、公共施設の再配置計画策定時に最適な規模を確保するよう準備を進めていく。</li> </ul>

一次評価(課長評価)

今後の方向性	<p>A:充実又は拡大      C:統合又は縮小      E:事業完了 B:現状のまま継続      D:廃止又は休止</p>	C	改善の必要性 有
	<p>レイ・ウェル鎌倉に求められる機能を改めて見直し、今後の勤労者福祉施策の中での位置づけを明確にすることにより、最適な立地や規模を早急に詰めて、全庁での検討に附していく。</p>		
担当課長氏名:	吉田 宗一		

二次評価(部長評価)

今後の方向性	<p>A:充実又は拡大      C:統合又は縮小      E:事業完了 B:現状のまま継続      D:廃止又は休止</p>	C	改善の必要性 有
	<p>施設の老朽化が著しく、耐震診断の実施も必要であるが、当面は緊急的な修繕を優先的に実施し、利用者の安全確保を図っていく。 現在は生涯学習の場としての利用が多いことから、勤労者福祉施設として必要な規模を算出し、公共施設再配置計画の中で移設を踏まえて検討していく。</p>		
担当部名	市民経済部	部長名	相澤 千香子